

## L 活用④ —— 教師用「生徒理解シート」を面談で生かす（生徒との面談での利用）

### 【ねらい】

- ①生徒の生活・学習・進路に関する状況を理解し、今後の学校生活や進路を方向づけできるようにする。
- ②結果を生かしながら、生徒の考えや悩みを理解する。
- ③現在の生活状況や自己理解を促し、学校生活や将来に向けた目標を考えさせる。

### 【準備するもの】

教師用「生徒理解シート」

### 【事前の準備】

教師用「生徒理解シート」をチェックする。

以下の視点①～⑥をもとに、教師用「生徒理解シート」を事前に確認しておく、面談の方向性を組み立てやすい。

### 視点① 「Check Point」

- ☑ 結果全体から確認できた生徒の長所・つまずき・トラブルの主要なポイントを把握する。
- ☑ 緊急の対応や配慮が必要な「つまずき」「トラブル」がないかどうかを確認する。

### 視点② 「ちあふるレベル」

- ☑ 各プロフィールで良好なところや不調なところ、意外なところを確認する。
- ☑ 複数回受検した場合、前回に比べて状況が悪化しているものがないかを把握する。

### 視点③ 「成長ポイント」「予防ポイント」「解消ポイント」

- ☑ 生徒の成長・予防・解消につながる指導ポイントを「Check Point」よりも詳しく確認する。
- ☑ 成長ポイントをもとに生徒の長所や強みを把握し、面談時の和やかな雰囲気づくりや生徒との関係づくりに活用する。
- ☑ 予防ポイントや解消ポイントをもとに生徒の悩みや課題を把握し、学校生活の目標や支援の必要度の確認に活用する。

### 視点④ 生徒の回答状況

- ☑ 結果のうち、特に注目したい回答（赤字）を確認する。
- ☑ 複数回受検した場合は、前回の結果から変化した回答を把握する。

### 視点⑤ 興味

- ☑ 生徒が興味や関心を高くもっている分野を把握する。
- ☑ 「進路を考えるためのキーワード」をもとに、進路指導へ生かす。
- ☑ 生徒の得意分野を学校での学習参加に活用する。

### 視点⑥ 能力

- ☑ スタンダード版を受検した場合に確認する。
- ☑ 生徒の能力（4側面）の得意・不得意の特徴を把握し、学習への取り組みや進路適性の検討に生かす。
- ☑ 極端に不得意な能力や、得意・不得意に大きな差のある能力がないかを確認する。
- ☑ 自己評価したスタディ（学習の土台）の結果と能力の結果に相違があるかどうかを確認する。

## 【面談】

「今日は、先日行った『ちあふる』の結果をふまえながら、学校生活や進路について相談しましょう。」

### 1 生徒の長所について、「いいね!」「成長ポイント」のコメントやプロフィールをもとに確認する

「〇〇さんは生活習慣や健康面の調子はよく、学習もがんばって取り組んでいますね。興味をもっている援助系の分野は、〇〇さんが将来希望している教育・保育の進路にとっても関わりがあるから、これからも関心をもち続けていくとよいですね。進路に関しては、進路情報や進路行事に関心をもっているようですね。進学のことなど、希望することがあったら教えてください。」

#### 「スタディ」の「困りごと」がまったくない（良好）場合

「〇〇さんは、学習（スタディ）に関して困っていることはほとんどないと感じているようですね。高校生活が始まったばかりで、これまでの先生方の教え方や学習スタイルと違うところがあるかもしれませんが、去年までと比べて、学習がスムーズにしているところや、逆に戸惑っているところは思い浮かびますか。」

#### 「キャリア」の「困りごと」がまったくない（良好）場合

「〇〇さんは、進路（キャリア）に関して困っていることはほとんどないと感じているようですね。進路について具体的に考えていくのは先のことで、まだ実感がわかないと思うかもしれませんが、自分の将来についているいろいろな可能性を考えながら過ごす学校生活の体験がより充実していくと思います。希望する進路や目標について、これからはいっしょに考えていきましょう。」

#### 「興味」のプロフィールの高低が極端な場合

「興味の6つの分野を比べると、〇〇さんは芸術系に強い興味をもっているようですね。どういうところが好きなのか教えてください。芸術系への興味が高い一方で、他の分野はあまり関心がないようだけれど、少しでも興味のあるような分野はありますか。」

### 2 生徒の要配慮ポイントについて、「トラブル」「解消ポイント」などから確認する

#### 「ライフ」の「友達関係」の項目に赤字の回答がある場合

「〇〇さんは友達関係について、現在も悩みを抱えているようですね。『先生に相談したいことがある』と答えてくれたようですが、その相談でよいですか。友達関係の状況を教えてください。それから、気持ちの落ち込みや、人と関わることへの苦手意識をやや感じているようです。今、困っていることを話してくれますか。」

#### 「スタディ」に「困りごと」がある場合

「〇〇さんは学習に関して困りごとを抱えているようですね。特に、基本的計算や文字筆記について難しいと感じているようですが、これまで勉強に取り組んできたなかで、どのようなことに困ったかを教えてください。今、学校で学習をしていて、これまでに比べてより困っているような状況はありますか。」

#### 「キャリア」の「学問分野の第1希望」や「仕事分野の第1希望」が未定になっている場合

「進路希望について、まだ学問分野や仕事分野が決まっていないようですね。『ちあふる』の結果をきっかけにして、将来について調べてみましょう。少しでも関心をもっているような分野はありますか。」

（「興味」のプロフィールや、「スタディ」の学習状況・学習の土台で高いものについて、『科学系』や『活動系』に興味が高く、『理系教科の理解』が得意と感じているようですね。自分ではどう思いますか。」などともちかけてもよい。）

### 3 予防ポイントについて、「つまずき」「予防ポイント」や注目したい回答などから確認し、悩みが他にないか確認する

#### 「つまずき」や「予防ポイント」に指導のうえで気になるコメントが出力されている場合

「先ほど確認してきたこと以外にも、『落ち着きのない傾向』や『基本的計算』について気になっているようですね。学校生活がよりスムーズになるように、気になることが少なくなっていけばよいのですが、今の時点で対処している方法は何かありますか。その他にも気になることがあったら、いっしょに確認して、対処方法を考えていきましょう。」

#### 「ライフ」の「保護者からの尊重」の回答が「されていない」と赤字で出力されている場合

「〇〇さんは保護者に尊重されていないと感じているようですね。自分が安心していっしょにいられる人や、悩みごとを話せる人はいますか。」